

九州大学遺伝子組換え実験安全管理細則

平成16年度九大細則第12号
施行：平成16年4月1日
最終改正：平成28年3月31日
(平成27年度九大細則第22号)

(趣旨)

第1条 この細則は、九州大学遺伝子組換え実験安全管理規則(平成16年度九大規則第82号。以下「規則」という。)第27条の規定に基づき、遺伝子組換え実験(以下「実験」という。)の実験計画の申請の手続等について必要な事項を定めるものとする。

(実験計画の申請等)

第2条 規則第10条第1項に規定する実験計画の申請は、所定の様式によって行うものとする。
2 前項の規定は、実験計画を変更しようとする場合に準用する。

(実験に係る標示)

第3条 規則第15条に規定する標示は、所定の様式により行うものとする。

(実験に使用する施設の標識)

第4条 実験に使用する施設には、所定の様式による標識を掲げるものとする。ただし、P1レベルの実験に使用する施設については、この限りでない。

(実験の記録及びその保存)

第5条 実験責任者は、実験を行った日ごとに実験の記録を行い、5年間保存しなければならない。

(遺伝子組換え生物等の譲渡)

第6条 規則第18条第1項及び第2項に規定する届出は、それぞれ所定の様式により行うものとする。

(実験の終了又は中止の報告)

第7条 規則第19条に規定する報告は、所定の様式により行うものとする。

(大量培養実験に関する資料の保存)

第8条 規則第20条に規定する資料は、実験が承認された日から5年間保存するものとする。

(教育訓練)

第9条 規則第21条に規定する教育訓練は、少なくとも年1回行うものとする。

(この細則の改正)

第10条 この細則の改正は、遺伝子組換え実験安全委員会の議を経ることを必要とする。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年度九大細則第44号)

この細則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年度九大細則第1号)

この細則は、平成17年7月1日から施行する。

附 則 (平成18年度九大細則第1号)

この細則は、平成18年5月1日から施行する。

附 則 (平成18年度九大細則第20号)

この細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年度九大細則第19号)

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年度九大細則第7号)

この細則は、平成25年8月1日から施行する。

附 則 (平成26年度九大細則第20号)

この細則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大細則第22号)

この細則は、平成28年4月1日から施行する。